

政治・経済

(002東書・政経022・政治・経済)

レポート提出回数 **6** 単位数 **2**

必要面接時数 **2**

1. 学習の到達目標と取り組み

目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
目標に向けての具体的な取り組み	政治や経済の基本的な問題と人間にかかわる課題を自己の問題・課題として考察することが出来るように、現代社会における具体的な政治的・経済的な課題を新聞記事なども資料として適宜取り上げながら実施する。

2. 年間学習計画と評価方法

月	内容のまとめ(編・章)	主な学習目標と学習活動	単元・題材	レポート		スケーリング	Aテスト日と範囲	評価方法
				回数	期限			
4月	第1章 現代の政治	日本国憲法の基本的性格と国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観し、政治と法の機能、人権保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義について理解し、民主政治の本質や現代政治の特質について探求するとともに、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治のあり方及び主権者としての賛成のあり方について考察する。	1 民主政治の基本原則 2 日本国憲法の基本原則	No.1	4/28	5/19	第1回 7/7 レポート No1~2	レポート・テスト・面接 授業全体を通じて、観点別に項目を設けて、評価する。
5月								
6月								
7月	第2章 現代の経済	資本主義経済及び社会主義経済の変容、国民経済における家計、企業、政府、の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、資金の循環と金融機関の働きについて理解し、現代経済の特質について探究させるとともに、経済活動のあり方と福祉の向上との関連を考察する。	1 経済社会の変容 2 現代経済のしくみ	No.3	7/26	9/1	第2回 10/20 レポート No3~4	レポート・テスト・面接 授業全体を通じて、観点別に項目を設けて、評価する。
8月								
9月								
10月								
11月	第3章 現代社会の諸課題	大きな政府と小さな政府、少子高齢社会と社会保障、住民生活と地方自治、情報化の進展と市民生活、労使関係と労働市場、産業構造の変化と中小企業、消費者問題と消費者保護、公害防止と環境保全、農業と食糧問題などについて、政治と経済とを関連させて考察する。	1 日本社会の諸課題	No.5	11/1	11/17	第3回 1/12 レポート No.5~6	レポート・テスト・面接 授業全体を通じて、観点別に項目を設けて、評価する。
12月								
1月								
2月								

* 学習進度が早いので、注意してください。

3. 評価の観点

評価の観点	観点の内容
関心・意欲・態度	政治、経済、国際関係に対する関心を高め、平和で民主的な社会生活の実現と推進に向けて探求する態度を身につける。
思考・判断	政治、経済、国際関係にかかわる課題の特質、望ましい解決のあり方について様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断できる。
資料活用の技能・表現	資料をメディアを通して収集活用し、考察結果を様々な方法で適切に表現できる。
知識・理解	政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄を理解し、その知識を身につける。